

子どもたちへの水辺の安全教育プログラムの推進



～e-Lifesavingの制作と実践 2022年度完了報告資料～



2022Key : COLLABORATION

1, 文部科学省スポーツ庁 (4月~8月)

⇒小中学校の児童生徒への授業展開、教員研修、スポーツ庁事業展開

2, 内閣府消費者庁 (5月)

⇒子どもの事故防止週間

3, 海上保安庁 (5月~10月)

⇒Water Safety Guide、2022映像教材制作中

4, 学研 (5月、6月)

⇒キッズネット (主に保護者向け)

⇒みどりのなかま (主に保護者向け)

5, Yahoo!きっず、ベネッセ (7月)

⇒ちょボットの川・海安全ガイド

⇒児童への学びの提供

6, スポーツクラブ (7月)

⇒スイミングクラブの子ども達へ



助成 : 日本財団 海と日本PROJECT
制作協力 : 学研教育みらい

1-1, 文部科学省HP 子供の学び応援サイト～学習支援コンテンツポータルサイト～内、小学校「体育」、中学校「保健体育」にそれぞれ紹介された。

The screenshot shows the website interface for the Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT). The page title is "中学校保健体育における学習支援コンテンツ (令和4年2月2日時点)". The main content area is titled "教師向け資料" (Materials for Teachers) and includes a section for "工夫例" (Examples of Efforts). A red arrow points to the "動画等" (Videos, etc.) section, which lists several video resources. A banner at the bottom right promotes the "子供の学び応援サイト" (Children's Learning Support Site).

文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

会見・報道・お知らせ | 政策・審議会 | 白書・統計・出版物 | 申請・手続き | 文部科学省の紹介

トップ > 教育 > 生涯学習の推進 > 学習支援コンテンツポータルサイト(子供の学び応援サイト) > 中学校 各教科等 > 中学校保健体育における学習支援コンテンツ (令和4年2月2日時点)

● 中学校保健体育における学習支援コンテンツ (令和4年2月2日時点)

[前のページに戻る](#)

教師向け資料

◎工夫例

- 体育については、授業で学習した内容で、家庭でも安全に行うことができる運動を行ってみる(例:体を伸ばしたりほぐしたりする手軽な運動、リズムに乗って体を動かす運動、縄跳びなど用具を用いた運動、腕立て伏臥腕屈伸など力強い動きを高める運動 など)。また、オリンピック・パラリンピックを含め、スポーツの意義等について、教科書等を参考に考えたり、レポートにまとめたりする。
- 保健については、教科書等を使って、授業で学習した内容を振り返ってみる。

その他活用できる 学習動画、ワークシート等

動画等

- [○家庭での体育、保健体育の学習コンテンツ参考例/スポーツ庁](#)
- [○京都教育大学公式YouTube kyokyochannel](#)
- [○守ろう!いのち 学び合おう!水辺の安全/公益財団法人日本ライフセービング協会](#)
- [○安全水泳教育プログラム/慶応義塾大学体育研究所](#)
- [○アニメで学べるがんの放射線治療/JASTRO 日本放射線腫瘍学会](#)

子供の学び応援サイト

～学習支援コンテンツポータルサイト～

1 - 2 ①,

スポーツ庁より、4ス庁第230号令和4年5月11日では、各都道府県教育委員会教育長、各指定都市教育委員会教育長、各都道府県知事、各指定都市市長等に向け、水泳等の事故防止について通知がなされた。その中で「学校における児童生徒等に対する水泳指導等について」では、以下の通り推奨教材として紹介された。

～抜粋～

児童生徒の水難事故が特に学校の夏季休業に入った直後に多発する傾向にあるので、**学校においては、体の体調を確かめてから泳ぐ、プールなどの水泳場での注意事項を守って泳ぐなどといった水泳の事故防止に関する心得を十分指導し、PTAなどを通じて家庭にも指導の趣旨を周知するよう配慮すること。**その際、以下の資料等も参考にすること。

- ① e-learningコンテンツ「守ろう！いのち 学び合おう！水辺の安全」
(公益財団法人日本ライフセービング協会)

<https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>



1 - 2 ②,
スポーツ庁 室伏長官視察
令和4年7月1日

e-Lifesaving

×

Water Safety



室伏長官へ授業で活用している
e-Lifesavingの教材について説明。

1 - 2 ③, 教育委員会連携事業での運用 令和4年7月21日~8月12日 11校1194名

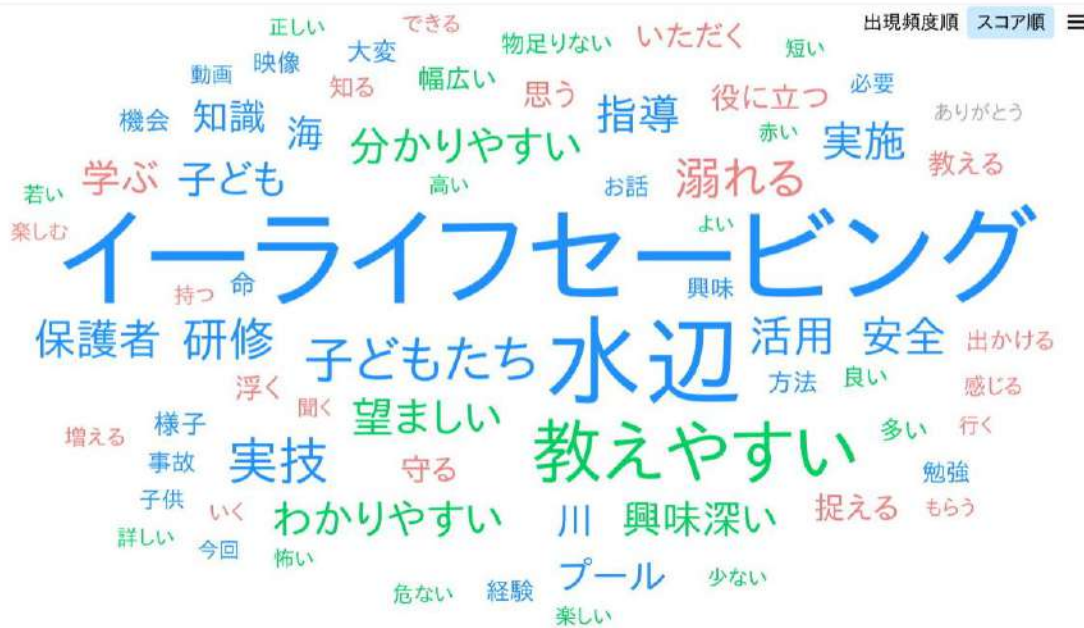
JLAでは北区教育委員会から、海におけるウォーターセーフティ教育の指導を受託している。

@千葉県南房総市岩井海岸

長丁場における自然環境下での指導では、天候による実技プログラムの中止や変更など、柔軟な対応が求められる。その際『e-Lifesaving』を積極活用することで、学びに穴を空けないための有効な教材として大変役に立った。今後、ライフセービングに限定されることなく、海で実施する様々な諸活動において、水辺の安全を学ぶ教材としての積極活用に繋げていきたい。



全体的な感想 テキストマイニング(スコア順)



本日は貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。危ないから行かないではなく知識を持った上で対応することが大切だと感じました。幅広い年代にとって必要な知識だと思いました。ぜひ、次回は本校へお越しいただきたいです。

水辺の安全動画は、海行く前に見とけば良いなと思う。何となく聞いたことがあることがはっきり動画で分かる。離岸流動画でさらに勉強してみます。

**大井第一小学校PTA主催
オンライン形式23名参加**



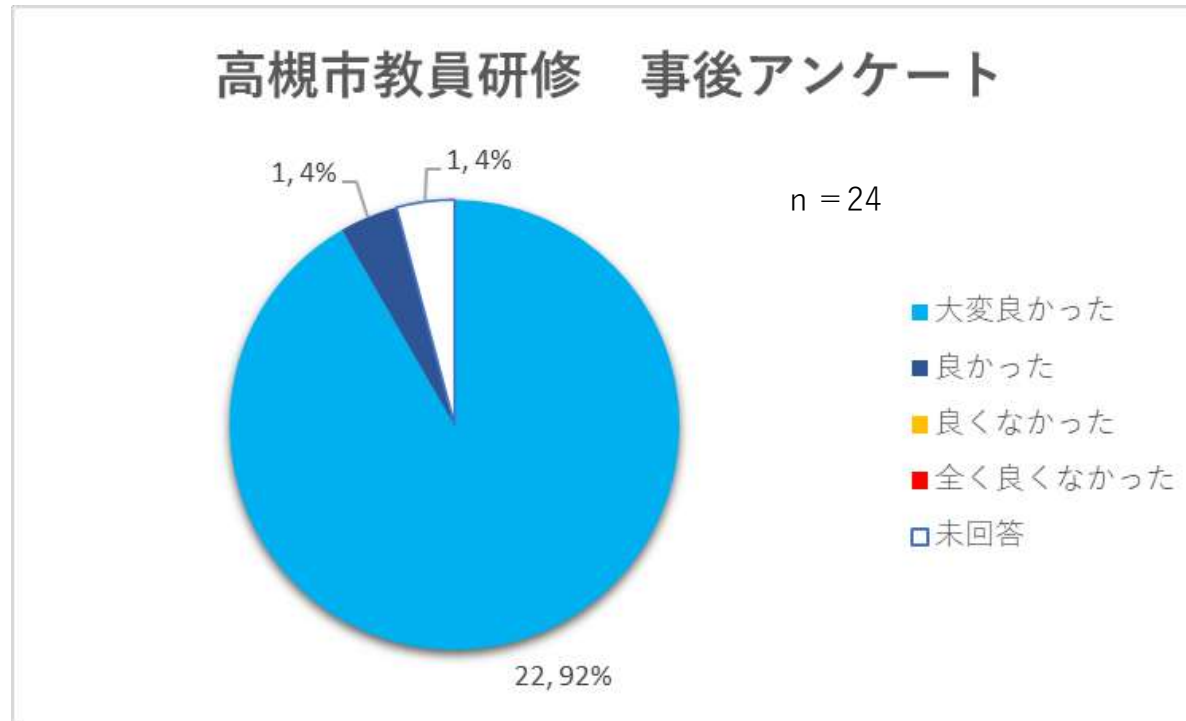
「川でのできごと」の映像にドキドキしました。ライフジャケットは持っていますが、正しい使い方がわかりました。

川での事故が多くなり、亡くなった人など多数いて、その原因などが今日見たビデオなどにでてきていたので、川や海に行くときはライフジャケットをつけて、大人の人と一緒に行くことを学んだ。

子どもの水の事故がああやって起こることに納得した。映像を見ながら具体的な事故の起こり方に指導のポイントがあり、大変勉強になった。

**Love & Safetyいさはや主催
ハイブリット形式75名参加**

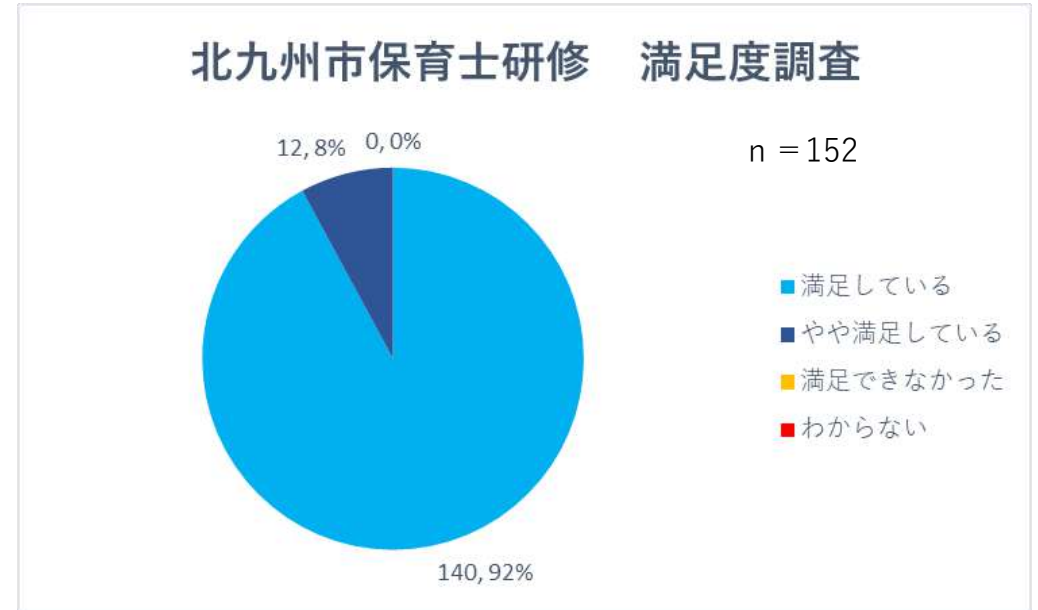
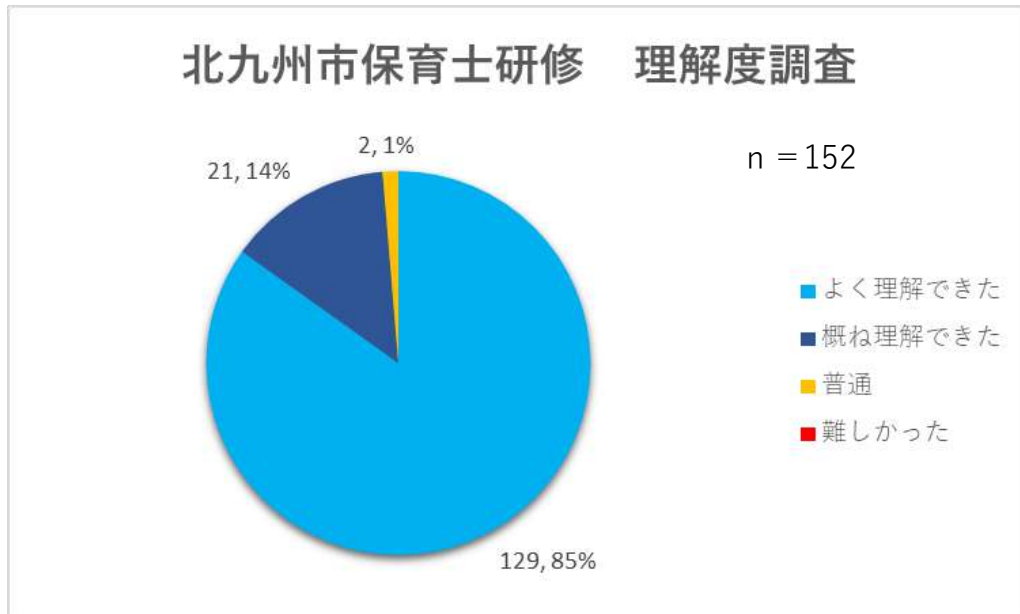
1-3, : 大阪高槻市教員対象研修(e-Lifesaving活用) 主催：高槻市教育センター 2022年6月16日実施



- ・これから学校の体育の授業で水泳が始まるが、安全教育を事前にやっておくことが大切だと思った。e-Lifesavingを実際に授業で活用していきたいと思った。
- ・大変ためになるサイトの制作、紹介をいただきありがとうございました。校内で紹介し活用させていただきます。
- ・水難事故に関する知識が少なかったもので、こういった機会に知れたこと、リアリティがあり、とてもわかりやすい教材があることを知り、今後の授業に活かしていきたいと思いました。
- ・子ども達に水辺の楽しさと正しい知識をもってもらうためにe-Lifesavingを校内で広めようと思います。教材として非常にすぐれているように感じました。早速使います。

1-4, 事例2 : 北九州市保育士対象研修 (オンライン : e-Lifesaving活用)

主催 : 北九州市社会福祉研修所 2022年7月22日実施



- ・データから分析されたことや経験からの話が心に響きました。これから園全体で子どもの命を守っていこうと思いました。
- ・安全管理の考え方などわかりやすく勉強になりました。また海での危ない場所や対処法なども 知ることができてとても参考になりました。
- ・危険だからしないということではなく、乳幼児期に水に触れておくことが必要であるということがあらためてわかりました。
- ・事故が起こらない様に未然に防ぐ大切さを再認識し、子どもたちの命を守る重要な立場にいるという自覚を高めることができました。
- ・水遊びについて今後の参考に十分でした。保育者のみならず、大切な命を守るために、保護者への啓発にも役立つと思います。

～社会福祉センターが実施したアンケート調査より～

受講者の職種	人数
所長・園長	38
主任保育士	36
保育士	29
副主任保育士	19
専門リーダー	15
分野別リーダー	7
主査	4
副園長	2
幼稚園教諭	2
合計	152



2, 消費者庁令和4年度子どもの事故防止週間において「海・川・プール等での水の事故全般に関する参考資料等」として紹介された。

令和4年度子どもの事故防止週間 参考資料



News Release

令和4年7月20日

子どもの水の事故を防ごう！

-7月25日は「世界溺水防止デー」、予防策を再確認して行動を！-

令和3年4月の国連総会での採択により毎年7月25日は「世界溺水防止デー」と宣言されています。世界では、毎年、推定23万6千人が溺れており、溺死は1歳から24歳までの子どもと若者の死因の上位10位以内に入っています¹。

日本では、厚生労働省「人口動態調査」によると0～1歳では浴槽での溺死、より活動的になる5歳以上では、自然水域での溺死が最も多く発生しています。

子どもの水の事故を防ぐため、関係機関から呼び掛けられている水の事故防止のためのポイント等を取りまとめました。この機会に、予防策を再度確認し、具体的な行動をとりましょう。

<溺水防止の考え方>

- 子どもだけで水に近づかない、近づかせない工夫を
- 子どもが水に接する場合は、大人は目を離さず、手の届く範囲で見守りを



(公財) 日本ライフセービング協会「e-Lifesaving」

守ろう!いのち
学び合おう!水辺の安全
Swim & Survive

事前学習
みんなで考えよう!
動画で学ぼう!
クイズ!水辺の安全って?

プール編
海編
教えて!ライフセーバー
川編
教えて!川遊びリーダー

海のできごと
離岸流ってなに?
川のできごと

安全なプール活動
助かる方法
助ける方法
実験動画

初級編
中級編
上級編

<https://elearning.jla-lifesaving.or.jp/>



3, 海上保安庁「Water Safety Guide」内、遊泳の安全情報として紹介された。



海上保安庁HPより

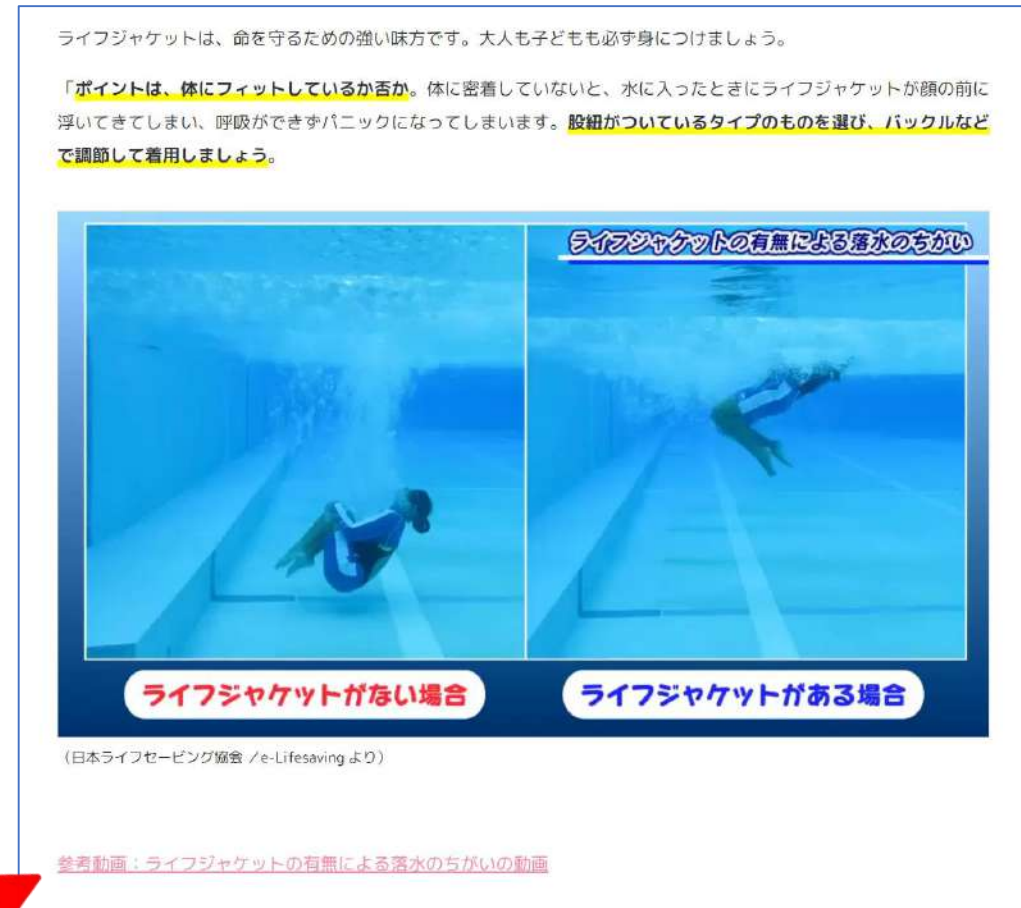
<https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/>



- (公財)日本ライフセービング協会 動画で学ぼう!守ろう!いのち学び合おう!水辺の安全 Swim&Survive 詳しい情報は⇒[コチラ](#)
- (一社)水難学会が提唱している「浮いて待て」の詳しい情報は⇒[コチラ](#)
- (公財)河川財団 子どもの水辺サポートセンター 水辺の安全ハンドブック等 川の場合の対処法等 詳しい情報は⇒[コチラ](#)

4-1, Gakkenキッズネット 「保護者の方へ」2022年7月4日掲載

サイトより一部抜粋



このウェブサイトのアクセス数は、
650万PV/月平均

GakkenキッズネットHPより
<https://kids.gakken.co.jp/parents/parenting/220704/>

川では、保護者が子どもを溺れにしていることが大切

一足、川遊びの注意点を。地形や川の流れによって、流れが不安定なところがある場合があります。川が急流、急流が急流で多く発生し、流れが速いので、溺れやすくなります。川が急流、急流が急流で多く発生し、流れが速いので、溺れやすくなります。

深が徐々に深くなっていく構造や、流れや波を発生させるポイントが増えています。急に水深が深くなっていくところに気づかずに、夢中に遊んでいるお兄ちゃんを追いかけた1歳の弟さんが真ん中にかかずに溺れてしまう場面もありました。レジャープールでは、水深を必ず確認しましょう。お子さんが溺れたときに、泳いみかきをする利点があります。

4-2, 学研教育新聞 「みどりのなかま」 2022年7月号に紹介された。

全国に展開する学習塾の児童へ 発行部数約30万部。

日本ライフセービング協会 松本貴行先生に教えていただきました

水の事故から子どもを守る!



もうすぐ夏本番! 水辺での遊びが楽しみ始める時期です。警察庁によると、海、川、プール等の水辺で発生する水の事故は7~8月に集中し、なかには子どもが死亡する事故も発生しています。今月は、お子さんを水の事故から守るために保護者ができることを、日本ライフセービング協会副理事長の松本貴行先生にうかがいました。水辺へお出かけの際は、ぜひ参考にしてください。

教えておこう! 助かる方法

水辺へ遊びに行く前には、溺れそうになったらときに「助かる方法」をお子さんに教えておきましょう。

●溺れそうになったら、空を見よう 浮き身の姿勢をとることにつなげます。これによって呼吸ができるようになります。



●川で流された場合



溺れている人がいたら?

海水浴場で溺れている人を見たときは、監視員やライフセーバーなど周囲の人に助けを求めましょう。溺れた人を助けるために、水に入るのは危険です。緊急通報用電話番号の118番(海上保安庁)、110番(警察)、119番(消防)に救助を求めましょう。①どのような事故か、②事故の場所、③事故者の人数、④通報者の名前と連絡先が重要です。落ち着いて連絡しましょう。

水に入らずに救助する方法

まずは自分の安全を確保し、道具を使うなどに助けましょう。

- ①浮力のある物を探し入れる 浮力のある物としては、浮き輪、ベイトボット(少し水が入っている)や浮き輪、フー・ボックス(ふたを閉める)、水筒、バケツ、工事現場などにあるカラーコーン、布切れ...などがあります。
- ②浮き輪やフー・ボックスなどの道具を使い、溺れている人を助けよう。自分が水中に落ちないようしましょう。



海の離岸流に気をつけよう!

日本の海岸では海や海岸を守るためにさまざまな事故防止設備が設置されています。離岸流は、観測所の近くで発生することが多いので注意しましょう。

●離岸流が発生しやすい場所



●離岸流が起きている場所の特徴

- ・周囲と違って海水の色が濁って見え、波が弱くにくい。
- ・波の白い泡や海藻、ゴミなどが集まって沖へ流れている。

もし、離岸流に流されてしまったら

「沖に流される!」という恐怖感からパニックに陥りやすくなります。また、岸に戻るつもりと勘違いして溺れる危険性もあります。離岸流のスピードは秒速2m以上になることもあり、オアシスのメダカメダカでも流されていってしまう危険性があります。



水辺では、KEMP WATCHを心げよう!

2020年、2021年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、閉鎖されたプールや海水浴場もあり、水辺での遊びは減っています。しかし、夏の季節は近づいてきて、水辺での遊びが楽しみ始める時期です。今月は、お子さんを水の事故から守るために保護者ができることを、日本ライフセービング協会副理事長の松本貴行先生にうかがいました。水辺へお出かけの際は、ぜひ参考にしてください。

から目を離すのは危険ですの、注意してください。

●Lifesaving Swim & Survive



松本貴行先生

日本海大学 体育学部体育学科卒業、横浜国立大学大学院 教育学部修士課程修了、成蹊大学 中野高等学校 保健体育科教諭、読者専門学校 体育学科 保健体育科教諭、日本ライフセービング協会 副理事長として全国の海岸防衛に貢献している。

●Lifesaving Swim & Survive

★Lifesavingは、水の事故を防ぐための知識や技能、安全のための知識や技能について、子どもから大人まで楽しく学ぶことができます。



5, YAHOO!きっず 「ちょボットの川・海安全ガイド 2022年7月10日公開



このウェブサイトのアクセス数は、
250万PV/月平均

YAHOO!キッズHPより

https://kids.yahoo.co.jp/bousai/mizube/?cpt_n=%E6%B0%B4%E9%9B%A3bnr_bousai&cpt_m=bnr&cpt_s=kids_bousai

6、スポーツクラブ（スイミングクラブ）との連携

- ・今後、学校教育における「水泳授業」の地域委託等も視野に入れ、e-Lifesavingを活用したWSのプログラム展開を協同実施



ライフジャケットを着ることの大切さを学んだ。

～ 以下父～

こどもたちと参加しました。私自身初めての経験で、万が一こどもが溺れた時の対応が一番勉強になりました。また、座学も必要な知識を学べ有意義な時間となりました。

事後アンケートより

会場	開催日	時間	参加人数	指導員
堀之内	6/12（日）	13:00～14:30	8	石原
調布	6/19（日）	14:00～15:30	18	安達
堀之内・八王子	6/26（日）	13:00～14:30	34	石原、竹田
藤沢①	7/3（日）	14:00～15:30	26	大山
藤沢②	7/10（日）	14:00～15:30	23	篠田
稲城	7/17（日）	11:15～12:45	25	安達

172名



子どもたちに対してどういう危険があるかをきちんと語ってから水辺に行くこと、自分も最低限の救助ができるように心身の健康を整えておくこと（本日のレッスンに参加した父親の回答です。とても有意義な時間をありがとうございました。）

事後アンケートより

座学

e-Lifesavingを使用しての座学

集合時間を利用して、みんなで考えよう！「海のできごと」を流して視聴。
挨拶、今日の流れ、目的 ⇒ この『命を守るための水泳授業』で何を学ぶのか確認

30分

- | | |
|---|---|
| ①クイズ 初級編 1 問目 | 日本での水辺の事故について |
| ②資料集『Project of JLA』 | ライフセーバーって？ |
| ③事前学習 海編、川編 | 海の注意すべきところは？ 海編→風、離岸流など
川編→河川財団が協力して作成。是非、自宅で。 |
| ④動画で学ぼう！ | 実技で行う内容を確認。 |
| 『浮く①、④』『ライフジャケットの有無』『トーク、リーチ、スロー』『ライフセービングバックストローク』 | |
| ③事前学習 プール編 | シャワーを浴びる、準備体操をする。 |



6, スポーツクラブ (スイミングクラブ)

との連携

≪指導内容≫

実技

- ①【ライフジャケット体験】
- ・正しい装着の仕方（子どもに考えさせながら）
 - ・ライフジャケットの利点
 - ・浮く ヘルプポジション（ハドルポジション）
 - ・移動する
（バタ足、ライフセービングバックストローク）
 - ・コンパクトジャンプ
 - ・アクシデンタルフォールイン

or

実技

- ②【着衣泳体験】
- ・泳いでみよう（普段との違いを知る）
 - ・浮いてみよう
 - ・道具を使って浮いてみよう。
ビート板、ペットボトル
 - ・スローに挑戦
（ペットボトルに水なし、水あり）
助ける、助けられる両方体験。



7, 2022年度、制作したもの①

New!



2021の視聴分析を受け、さらには学校教育において活用場面の多い「動画で学ぼう!」内、助かる方法や実験動画を右記のように撮影、解説付き（陸上、水中の両面から）で追加。今後は学齢に応じた学びの分類を試みたい。

追加動画	
1	ボディーローテーション①浮き身姿勢から
2	ボディーローテーション②立位姿勢から
3	ボディーローテーション③前転・後転
4	ボディーローテーション④浮き身姿勢から（ライジャケあり）
5	ボディーローテーション⑤立位姿勢から（ライジャケあり）
6	ボビングジャンプ～浮き身姿勢
7	ヘルプテクニック～ヘルプシグナル
8	立ち泳ぎ①踏み足
9	立ち泳ぎ②挟み足
10	コンパクトジャンプ～ヘルプテクニック
11	ヘッドファーストダイブ～潜行
12	ライフジャケットを正しく着ていなかった場合の落水
13	授業での落水体験 立位、座位

7, 2022年度、制作したもの①-a

New!

立ち泳ぎ
踏み足

スカーリング等で身体を支え、両足を開き、左右交互に足の裏で水を強く踏む

立ち泳ぎ
挟み足

スカーリング等で身体を支え、前後に開いた両足を交互に入れ替え、水をはさむ

ヘッドファーストダイブの方法

足を水面に上げ、逆立ちの状態から真下に潜る

ヘッドファーストダイブからの潜行
かえる足

平泳ぎ同様、腕で前方から水をつかみ脚をひきつけた後に後方へ水を蹴り出す

ヘッドファーストダイブからの潜行
ぼた足

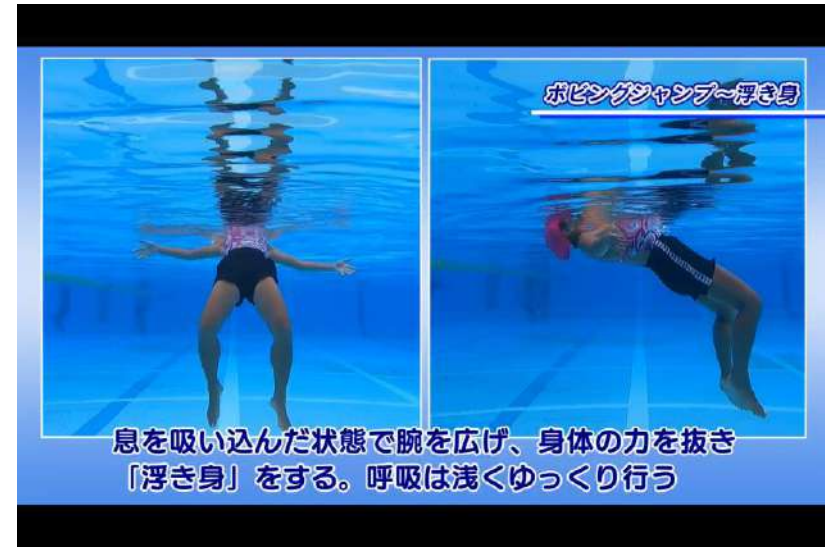
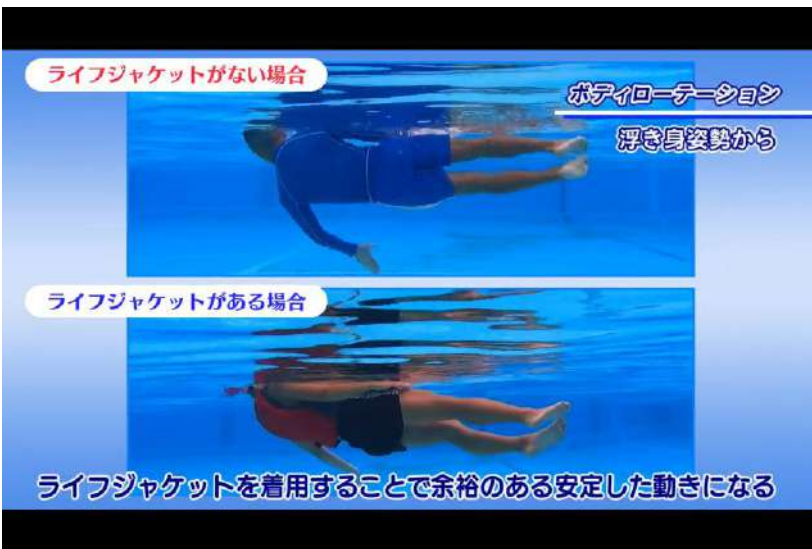
クロールの足の動作で、上下に大きくしなやかに蹴って進む

ヘッドファーストダイブからの潜行
ドルフィンキック

バタフライの足の動作で、両足同時に強くしなやかに蹴って進む

New!
7, 2022年度、制作したもの①-b

水中動作を学びながら、ライフジャケット (LJ) の有無による身体運動 (負荷) の違いを理解することで、LJの必要性をより実感できる (上段)



セルフレスキューの基本となる、水の中での身のこなしや、いざという時の対処法も学べる (下段)

7, 2022年度、制作したもの①-c New!

ヘルプテクニック とは、
両脚を胸につけるように抱え、
身体を丸めることで
熱を逃さないようにする姿勢のこと

HELP = Help Escape Lessening Posture

その他のテクニック
ヘルプテクニック～ヘルプシグナル

ヘルプシグナル
ヘルプテクニックで姿勢を安定させたあと
片手を上にあげ、左右に大きく振る

その他のテクニック
コンバクトジャンプ

※水深の浅いところでは行わない
コンバクトジャンプ
水の抵抗を小さくするために足から垂直に入水する

※水深の浅いところでは行わない

その他のテクニック
立位からの落水

水を背にしてお尻や背中から入水することで衝撃を和らげる
浮上したら、ヘルプテクニックの姿勢をとる

※水深の浅いところでは行わない

その他のテクニック
座位からの落水

万が一のアクシデントにおける正しい対処方法を知り、さらにはそれを実技で体験しておくことで、事故対応能力や、事故予防の心構えを身に付けるねらいがある。実技ができなくても、視聴するだけでも水辺の安全知識が身に着く動画となっている。

7, 2022年度、制作したもの②-a

New!



◆e-Lifesavingで一番視聴されている「事前学習」に、プールでの安全と魅力を伝える内容を新規に制作した。学校教育における「水泳」の事前学習として、活用が期待される。



7, 2022年度、制作したもの②-b (一部紹介) New!



◆主に小学校の学習指導要領に記された内容に沿い、構成している。

よって、水泳学習への理解をより効果的に深めることができる。



水が苦手な児童等でも、基本的なステップを踏むことで、水への抵抗を下げ、親しみを生めるような内容となっている。授業の中で実際に教師がじっくりと教える時間が取れないことへの課題も解消できる。



7, 2022年度、制作したもの②-c (一部紹介)

New!



水泳運動の心得を守って安全に活動することが大切 (学習指導要領)

水泳学習において、

「たのしいばしょ」と

その心得を覚えやすいようにまとめた

(JLA発案)

「た」いそうたいせつまえとあと

準備運動や整理運動は形だけではなく、身体をしっかり伸ばす、曲げる、を正しく行いましょう

「の」う (NO) です! ぜったいとびこみは!

水の中に飛び込むと、頭や首の骨を折ってしまう等の大きな事故につながってしまうため、絶対にやってはいけません。

「し」ゃわーはしっかりていねいに

プール前は清潔にするために。そしてプール後はプールの水に含まれる塩素を落とすためにしっかり丁寧に浴びましょう。

「い」そいじゃだめ。ゆっくり歩こうプールサイド

プールの周りは水で濡れていて、滑って転びやすいので走らずに歩きましょう。

「ば」でいでおたがい守り合おう!

水に入る前と後、水の中においても、お互いの安全を確認し合いましょう。

「し」ょうとつ注意! 水の中

水の中ではしゃぐと周りが見えなくなり、頭と頭が「ごっつんこ」なんてこともあるから注意しましょう。

「よ」くたべ、よくねる、プールの前

水の中は入ると、水圧や水温の影響から、知らないうちに体力を使っているんです。体調万全、元気な状態でプール活動に取り組めるよう、特に体調には気をつけましょう。

7, 2022年度、制作したもの③-a

New!

みんなで考えよう!

動画制作「ライフセーバーのいない海で」



※令和4年8月31日 湘南保安署にて下見と打ち合わせの様子

◆企画・制作 公益財団法人日本ライフセービング協会

◆制作協力・監修 海上保安庁、湘南海上保安署 / 学研教育みらい

◆出演 : 父親役...山崎豊 母親役...横森真紀
 長女役...松本乙葉 (中3) 次女役...安達奈海 (小5) 長男役...松本海成 (小2)
 海保1...湘南保安署保安官 海保2...湘南保安署保安官 海保3...本庁にて (通信センター)

◆制作背景と目的

全国の海水浴場ではライフセーバーや監視員が配備されていない場所も多くある。また海水浴場開設期間以外においても年間を通して訪れる方も多くいる。そこで何か起きた際には迅速な救助救命が重要となってくる。この動画を通して「118番」「119番」通報へのアプローチを周知しつつ、どのような対応が具体的に取りおこなわれるのかを知ることがねらいの軸である。その上で、e-Lifesaving内「みんなで考えよう!」学習のポイントを通して、事故を起こさないための未然防止の知識を身に付けることが最も重要な制作の目的である。

7, 2022年度、制作したもの③-b

みんなで考えよう！



海のできごと

離岸流ってなに？

川のできごと

ライフセーバーのいない海で

New!



12分55秒の動画

制作協力・監修 海上保安庁



①夏休み前のある日、家族で海に遊びに行きました。暖かい日だったので、お父さんは海の遊び道具を子ども達に出してあげることに。



③男の子を乗せたボートが沖に流されてしまいました。お父さんが追いかけてましたが、陸風の力は強く、どんどん沖に流されていきます。



⑤海上保安庁が出勤をして、男の子を沖で無事に保護。沖に流された時も、慌てて水の中に飛び込まずに、ボートの中で救助を待てたことがよかったことを実感します。



②シュノーケルで遊ぶ時にも注意が必要。水中を見るのに夢中になって、シュノーケルに波がかぶることも。そんな時はどうしたら良いかな？



④海水浴期間ではないので、ライフセーバーはいません。家族は海上保安庁（118番）に通報し、救助を待つことにしました。



⑥家族との対面。家族はライフジャケットを持っていないながら、着用していなかったことから、海上保安官から正しいライフジャケットの身に付け方について学びます。

7, 2022年度、制作したもの③-c

New! **学習のポイント**
動画をみたあとで、復習しよう。

 海に入る前にお酒を飲むことって大丈夫なのか？	 海に入る前、そして入る時には、どんなことに気をつけたらよいか？	 シュノーケルをするときには、どんなことに気をつけたらよいか？	 海で遊ぶとき、特に気をつけた方がよい風の向きを知っているかな？
 お父さんはどうして追いつくことができなかったのでしょうか？	 こんな時、どこに通報したらいいのかな？	 もしも...あの時かいせい君がボートから降りてしまっていたら、どうなっていたのでしょうか？	 ライフジャケットの正しい着方を知っているかな？海上保安官と一緒に確認しましょう！

①動画で考えよう！「ライフセーバーのいない海で」の中で出題される質問が「学習のポイント」のページに収納されており、振り返り学習や、要点整理として活用することができる。

Q
海で遊ぶとき、特に気をつけた方がよい風の向きは知っているかな？

②動画で考えよう！「ライフセーバーのいない海で」※19分34秒の動画

指導者は一時停止しながら、児童生徒の主体的、対話的な学びを促せるような設定になっている。動画のそれぞれの場面において、全部で8つの質問が自動的に出題される仕組みになっている。



A
海風 (オンショア)
陸風 (オフショア)
陸から海に向かってふく陸風(オフショア)です。

A
ビーチボールや大きなうき具は、風のえいきょうを受けやすく、流されやすいので注意が必要です。

A
浜にある旗がどちらになびいているのかを見て、陸風が強いようであれば、うき具で遊ぶことをあきらめる勇気も必要です。

7, 2022年度、制作したもの④

New!

New!



ライフジャケットを正しく着ていなかった場合の落水

問い
なぜ、ライフジャケットを着用しているのにこのような状況になってしまうのでしょうか？

ライフジャケットを正しく着ていなかった場合の落水

答え

- ①ライフジャケットのサイズが大きすぎる
- ②チャックを上まで引き上げていない
- ③またひもや留め具をきちんととめていない



水泳は命を守ることができるスポーツです。日本では多くの学校にプールが整備され、水泳の授業は必ず受けることになっています。学校での水泳の授業を通して、全ての国民に泳ぎをマスターしてほしいと思っています。その上で、プールでの水泳だけでなく、海や川などの自然とのふれあいの中で、安全に楽しく泳いだり、遊んだりすることができるよう、水辺での事故を防止するための知識や技能を身に付けることが大変重要です。この教材を用いて、緊急時に行うべき行動などを学ぶことで水辺の安全確保が図られ、一人でも多くの子供たちの命を守ることにつながることを願っています。

スポーツ庁長官 室伏 広治
公式ホームページはこちら

- ◆ 〈水辺の安全〉 応援メッセージ追加
- ・ スポーツ庁長官 室伏広治様

- ◆ 実験動画 追加
- 「ライフジャケットを正しく着ていなかった場合の落水」

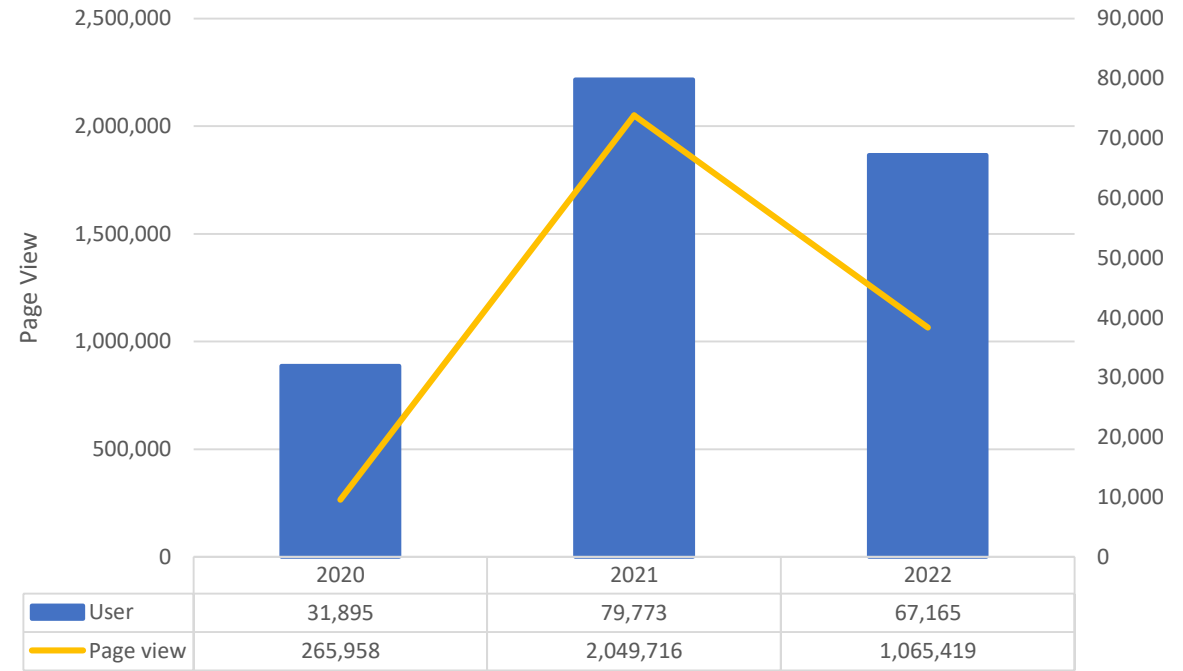
8, 2022年度におけるe-Lifesaving アクセス解析

期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日

■全体概要



e-Lifesaving 利用状況の解析



◆教育本部考察

ユーザーの利用時期は6月から徐々に増加し、学校の終業直前の7月中旬あたりがピークとなっている。2021年度はコロナの影響で多くの水泳学習が中止された2年目である。学習指導要領に記されている「水泳運動の心得」だけでも伝える必要性が現場でも要され、このコンテンツの活用が飛躍的に促進できた背景がある。しかし2022年度は、ほとんどの学校で水泳学習が復活し、限りある授業時間の中で、最大限に実技を優先させたいとする実情から、ユーザー数・PV数の減少に繋がったと推測している。今後も溺水事故を減らすためには、水辺における安全意識の定着や、安全のための知識と技能を身に付けさせる機会の創出は不可欠である。e-Lifesavingが、教師にとっての活用のし易さという観点からも、さらに改善する必要がある。今後は、学齢に応じたコンテンツ（学び）の分類を図ることと同時に、安全教育の必要性を教師の実感に落とし込めるような戦略的周知（広報、研修等）を試みたい。

9-1, 地域教育推進事業、

「ジュニア教室及び器材支援」事業 ①

事業目標：参加者300名⇒280名 達成率93.34%

□新規採択5団体

- ・沖縄県ライフセービング協会 17名
- ・札幌ライフセービングクラブ 16名
- ・新宮ライフセービングクラブ 9名
- ・館山サーフライフセービングクラブ 37名
- ・富山ライフセービングクラブ 40名

計：119名

□既存重点強化地域

- ・静波ライフセービングクラブ 20名
 - ・御宿ライフセービングクラブ 9名
 - ・若狭和田ライフセービングクラブ 132名
- 全合計 280名

「ジュニア教室及び器材支援」事業

□ e-Lifesaving、JLAジュニアライフセービングバッジテストを活用した、「ジュニアライフセービング教室の実施」

⇒「0を1に」を目標に、初めてプログラムを実施するか、新しい取り組みをする団体に器材等の支援を行った。

□ 公募による加盟団体への支援の枠組み構築

↓事業の意図と照らし合わせた公募

↓審査委員会を召集、5団体の企画提案書を採択

↓企画団体へオンラインと実地による支援及び現地調査

★報告書作成と精算

□採択企画提案書企画団体（名前順）

- ・沖縄県ライフセービング協会
- ・札幌ライフセービングクラブ
- ・新宮ライフセービングクラブ
- ・館山サーフライフセービングクラブ
- ・富山ライフセービングクラブ

9-1, 地域教育推進事業、

「ジュニア教室及び器材支援」事業 ②

各団体実施の様子（沖縄、新宮）



9-1, 地域教育推進事業、「ジュニア教室及び器材支援」事業 ③

広報関連書類

各位
令和 4年10月 吉日

一般社団法人 沖縄ライフセービング協会
代表理事 音野 太志

「沖縄県ライフセービング協会主催ジュニアライフセービング教室」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は、当団体の活動につきまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当団体は、公益財団法人日本ライフセービング協会の沖縄県代表機関として、水辺の事故0（ゼロ）を目標に、ライフセーバーの育成や、水辺の事故防止に向けた安全教育、啓蒙、普及活動をしております。

この度「沖縄県協会主催ジュニアライフセービング教室」について、下記のとおり実施する旨、ご案内いたします。
海に囲まれた沖縄県では、毎年多くの水辺の悲しい事故が報告されております。2022年度1月～6月期においては、過去10年で最多の水難事故が発生しており、6割を超える事故が県民によるものとなっております。
新学期が始まり、登下校や放課後など、子どもたちだけで近くの水辺に遊びに出かけやすい時間帯が出てきます。夏休みの楽しい思い出が残る今、子どもたちの興味関心があるうちに、水辺の安全について学習する機会をご活用いただければ幸いですか。児童、生徒、保護者の皆様への周知にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。
敬具

記

- 開催場所：タビックタラソセンター宜野座（プールプログラム）、カンナビーチ（ビーチレク）
- 日時：2022年11月19日土曜日 13:00～15:00（受付12:30～）
- 対象：小学生
- 内容：ライフジャケット体験、ニッパーボード体験、海の安全クイズなど（天候などにより変更になることがあります）
- 参加料：無料（参加料に含まれるもの：施設利用料、駐車場利用料、シャワー等利用料、プログラム参加料、保険料）
- 持ち物：水着、タオル、水泳キャップ、ゴーグル、飲み物、参加申込書、同意書
以上

広報関連書類

札幌ライフセービングクラブ主催

海であそぼう！

ジュニア ライフセービング 教室

参加費無料！

8.6.SAT
8.13.SAT

場所：厚田海浜プール
時間：10時～12時
対象学年：小学3～5年生

学ぼう！
地震が起きた時の
行動について

着てみよう！
ライフジャケットの
正しい使用方法

海を進もう！
レスキューボードで
マリンスポーツ体験

◎各日先着20名とさせていただきますので、ご了承ください。
◎当日は海に入ることができる様好でお楽しみください。
◎保護者の方も同伴いただけますようお願い致します。
◎参加費は無料ですが、海水浴場の駐車料金は別途発生します。
◎新型コロナウイルスの感染状況により中止となることがあります。

申込みはこちら！

協賛

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

お問い合わせ先
Mail:sapporo.lifesaving@gmail.com
Tel: (011) 822-9922
担当：渡邊 泰隆（わたなべ たいら）

学校地域連携、メディア

広報関連書類



9-1, 地域教育推進事業、「ジュニア教室及び器材支援」事業

審査依頼・結果

2022年6月18日
審査委員の皆様

地域教育推進委員会
木島悠太郎

「日本財団助成 ジュニアライフセービング教室公募」審査時の共有事項

この度は、教育本部にて担当しております、標記の支援事業にご協力賜り誠にありがとうございます。本事業では物品、現金含め30万円近くの助成内容となり、公正かつ厳正なる審査の必要性から、各本部部長の皆様を中心に審査をお願いさせていただくこととなりました。お忙しいところ恐れ入りますが、何卒ご理解の程よろしく願いいたします。

記

- 1、 教育本部では、ジュニアライフセービング教室の実施クラブ拡大を目指し、新規開拓に向けた企画の支援を目的として実施いたします。(案内、概要より：これまでジュニアライフセービング教室を実施する計画を持ちながら、器材やノウハウなどの問題で実施に至らなかったクラブに対して下記の企画を公募する。)
- 2、 評価については絶対評価にて、以下の通り評価をお願いいたします。(大変優れている=5/優れている=4/普通=3/やや劣っている=2/劣っている=1点)※3を標準点とする。
- 3、 各審査委員による配点傾向の差を無くすため、送信いただいた点数から審査委員ごとに順位を出し、その平均から総合的な順位を決定いたします。
- 4、 企画提案書は大きく3つのパートからなり、1つ目がプログラム実施までの準備、2つ目が中長期計画、3つ目がプログラム当日の指導案となっています。
- 5、 冒頭の通り、新規事業の支援が目的であり、指導員の確保や器材等の確保が、現時点でなされていなくとも、実施日までの計画が具体的に示されていれば良いものとしています。
- 6、 お忙しいところ、恐れ入りますが、6月27日月曜日までにメール添付のGoogleフォームにて、ご提出のほどお願いいたします。

以上

2022年7月5日

審査委員の皆様

地域教育推進委員会
木島悠太郎

「日本財団助成 ジュニアライフセービング教室公募」の審査について(御礼)

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度は、教育本部にて担当しております、標記の支援事業にご協力賜り誠にありがとうございます。無事、助成対象となる5クラブの選定が完了しましたことを、ここにご報告させていただきます。各応募団体、非常に魅力的な提案があり、その中から順位をつけていくのは、非常に難しい作業ではなかったかと感じております。公平な審査にあたっては、ご質問、ご提案などもいただき、ひとえにご多用の折りにもかかわらず同事業に非常に丁寧な対応をいただきました、審査に携わった皆様のご尽力の賜物と厚く御礼申し上げます。

今後も、同事業をすすめ、全国へのジュニアライフセービング教室普及につなげて参ります。今後ともより一層のご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。略儀ながら御礼とさせていただきます。

記

- 1、 審査合格クラブ(申請者名のとおり)

- 札幌ライフセービングクラブ
- 特定非営利活動法人 新宮ライフセービングクラブ
- 館山サーフライフセービングクラブ
- 沖縄県ライフセービング協会
- 富山ライフセービングクラブ

以上

	0	鹿児島	下関	沖縄	館山	札幌	新宮	富山
白井勇喜		15	38	45	46	49	26	36
順位		7	4	3	2	1	6	5
風間隆宏		23	31	48	42	46	47	39
順位		7	6	1	4	3	2	5
石川仁憲		25	32	46	40	49	34	39
順位		7	6	2	3	1	5	4
佐藤 洋二郎		25	28	47	37	42	33	32
順位		7	6	1	3	2	4	5
高野絵美		23	23	38	30	33	35	26
順位		6	6	1	4	3	2	5
宮部周作		16	36	46	44	45	49	38
順位		7	6	2	4	3	1	5
中川容子		24	23	39	28	31	36	28
順位		6	7	1	4	3	2	4
松本貴行		20	29	45	27	34	30	36
順位		7	5	1	6	3	4	2
平均順位		6.75	5.75	1.5	3.75	2.375	3.25	4.375
審査結果		7	6	1	4	2	3	5
	否	否	合	合	合	合	合	合

9-2, 地域教育推進事業、 JLAジュニアライフセービングクラブハウス ①

★年間目標参加者数50名⇒第1回32名、第2回19名、合計51名参加

JLAジュニアライフセービングクラブハウス実施の経緯

- 「指導者-指導者」「指導者-JLA」「指導者—society」顔が見える関係、地域や得意分野でフォローし合える→リレーションシップの強化
- 「遠く離れた環境や、タイプの違う活動からも学び合える」⇒画一的な活動に偏ることなく、広く豊かな手法に目を向け、海を楽しみ、海から学ぶ、子どもたちを中心とした豊富な指導実績を共有の財産とする。

2022年度 第1回 学校教育連携強化(子どもたちの海の事故を減らそう～夏休みを迎えるにあたって)

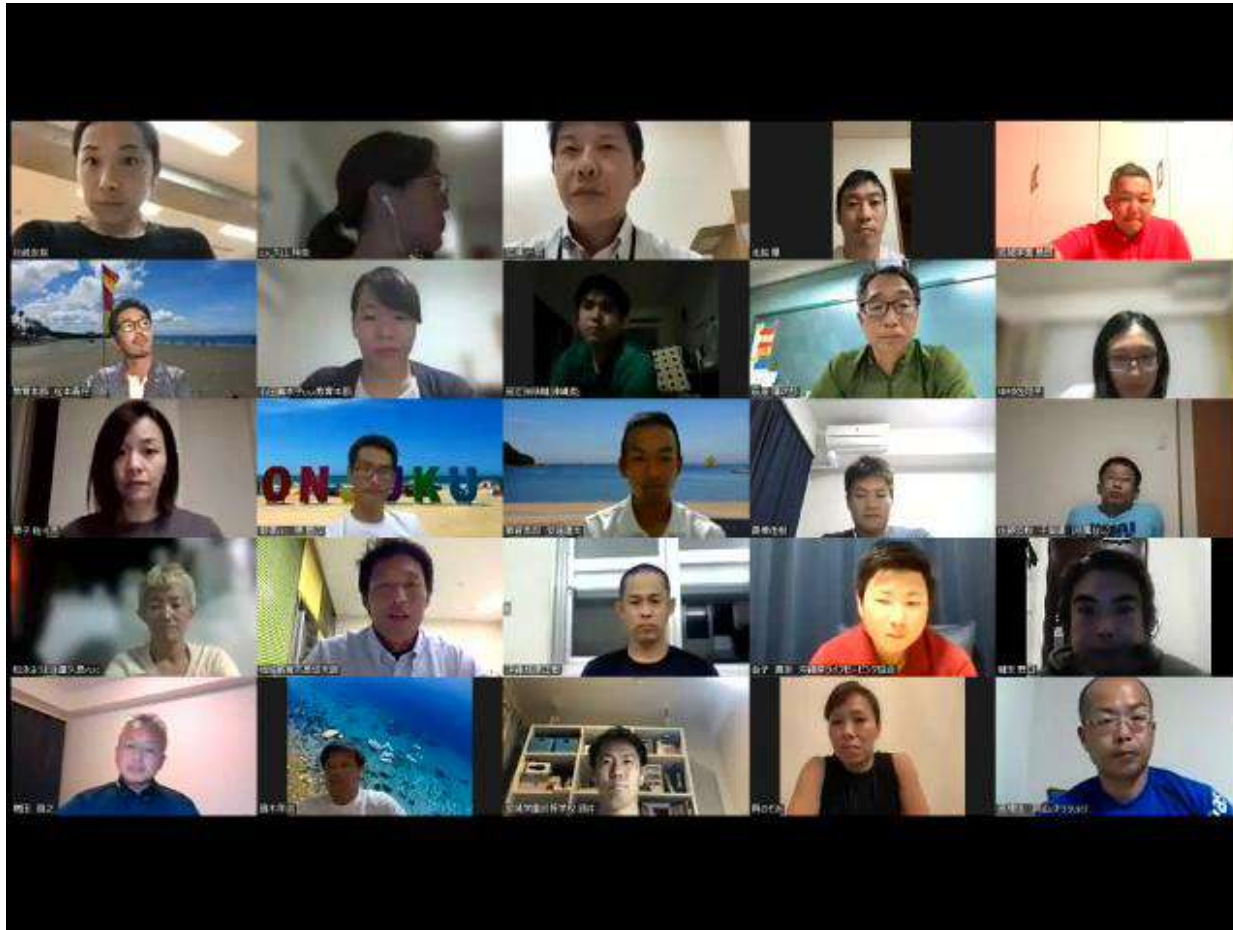
- ・日時：2022年6月9日木曜日 18:30~20:30 講義形式 @zoom
- ・講義①「ライフセービング×学校教育連携専攻事例」鹿嶋ライフガードチーム 高崎様
- ・講義②「ライフセービングと地域、学校の包括的連携事例」御宿ライフセービングクラブ 林様
- ・講義③「学校の先生が実践する学校活動内の取り組み」(e-Lifesaving)学校教育推進委員 安達委員

2022年度 第2回 交流会、意見交換会

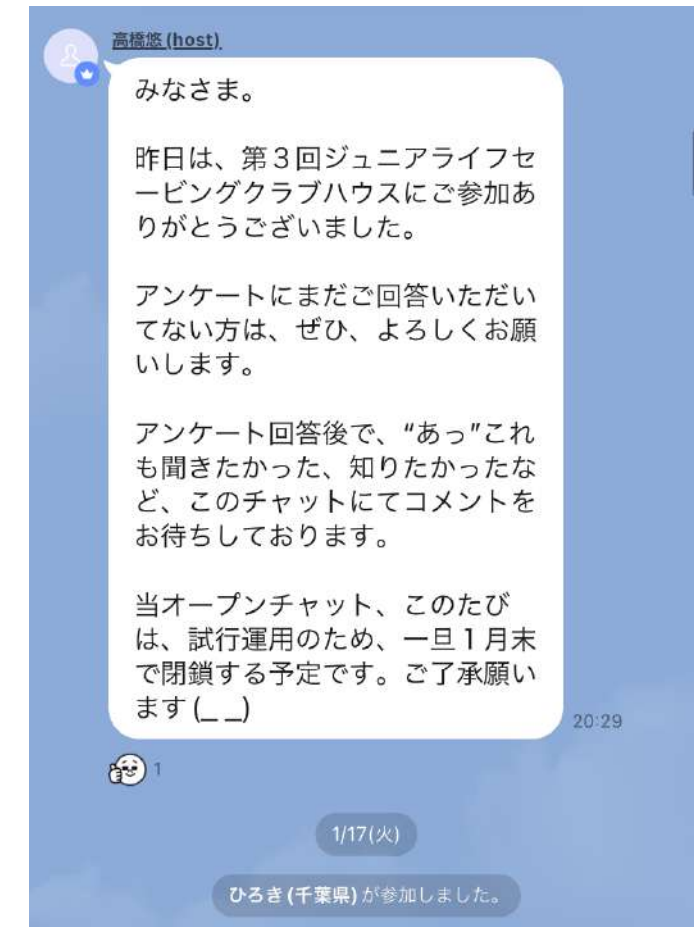
- ・日時：2023年1月15日日曜日 19:00~20:30 グループワーク @zoom
- ・グループワーク①地域別意見交換会
(近隣地域、遠方地域選択制)
- ・グループワーク②テーマ別意見交換会
(資金調達／参加者獲得・継続／運営事務・保険／学校・地域連携／ジュニアプログラムの内容)

9-2, 地域教育推進事業、 JLAジュニアライフセービングクラブハウス ②

zoomによる実施の様子



LINEオープンチャット開設



9-2, 地域教育推進事業、JLAジュニアライフセービングクラブハウス ③

第2回 参加者32名（内教員14名）、参加教員について

第二回 JLAジュニアライフセービングクラブハウス

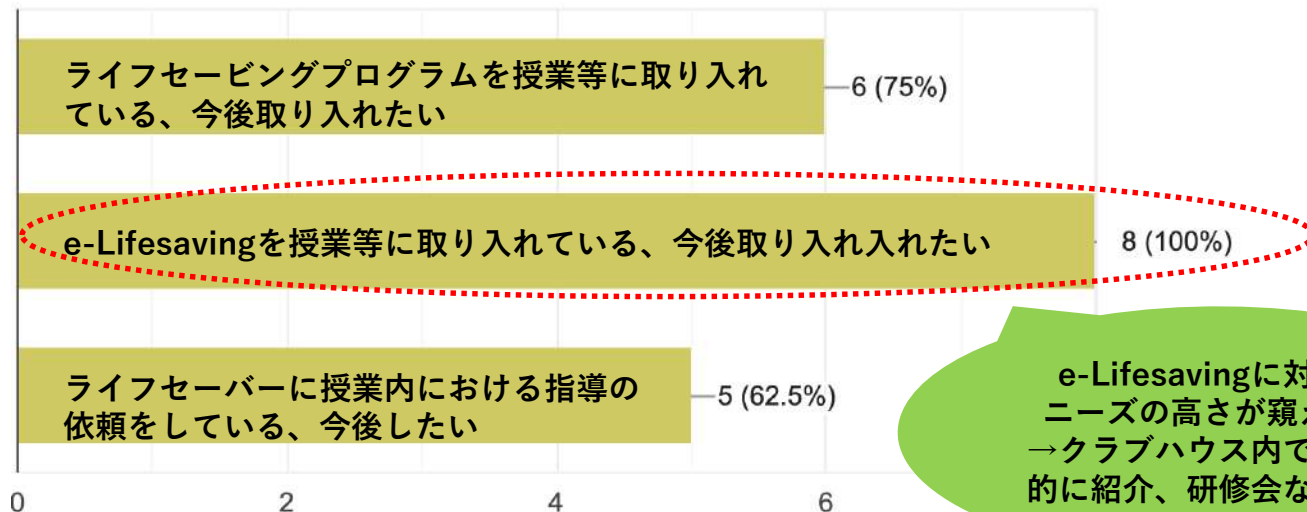
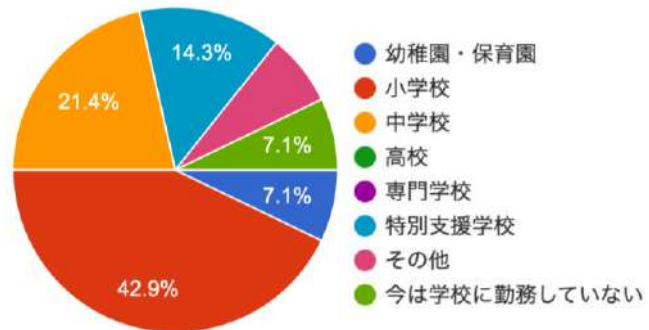
テーマ：【学校教育連携】
全国の小中学生に対しライフセービングを学ぶ機会の創出をめざしています

6月9日（木）
18:30~20:30 @zoom
参加費：無料
申込締切：6月6日（月）

【内容】
講義①「ライフセービング×学校教育連携先行事例」
講義②「e-Lifesaving研究報告と活用」
講義③「先生方による学校活動内での取り組み」
グループワーク など

はじめての方も！ Join us !!

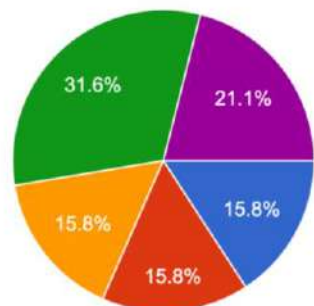
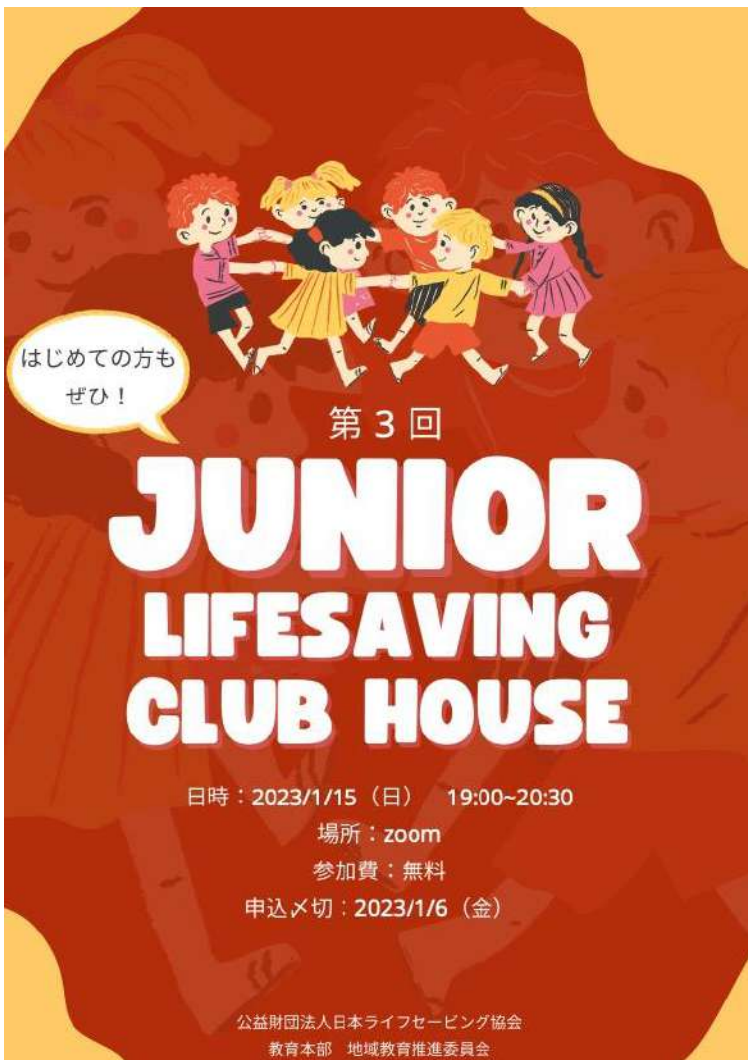
日本ライフセービング協会
教育本部
地域教育推進委員会



e-Lifesavingに対してニーズの高さが窺える。
→クラブハウス内でも継続的に紹介、研修会など行う

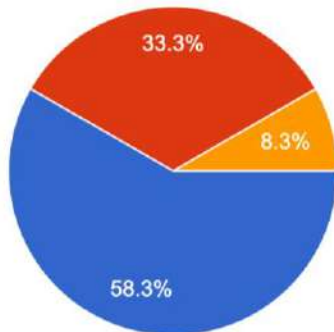
9-2, 地域教育推進事業、 JLAジュニアライフセービングクラブハウス ④-a

第3回 参加者19名



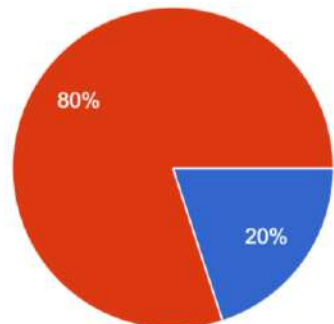
- 資金調達
- 参加者獲得・継続
- 運営事務・保険
- 学校・地域連携
- ジュニアプログラムの内容

グループワーク 希望テーマ



- 初めて
- 2回目
- 3回目

参加回数

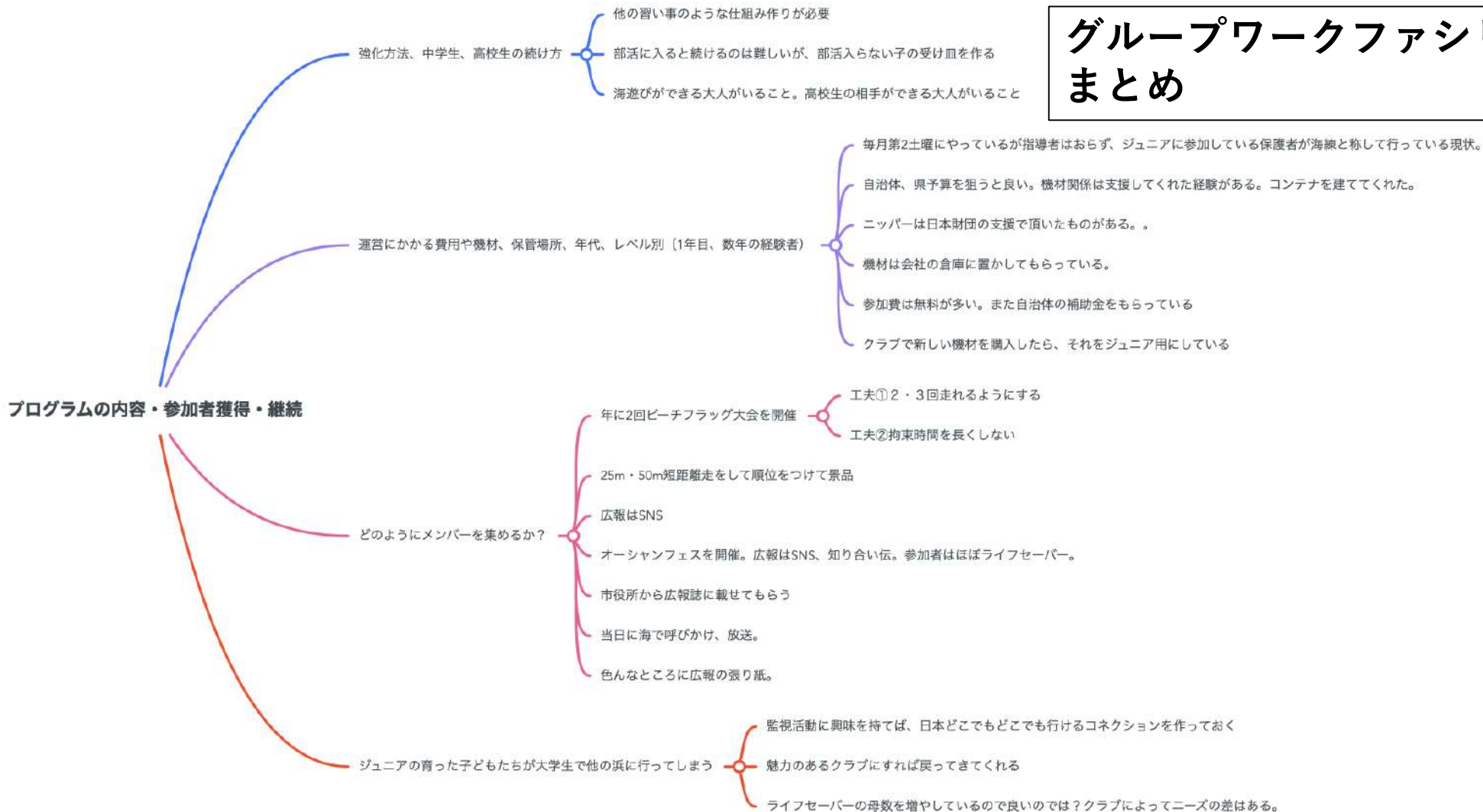


- ジュニア活動に参加したい
- ジュニア活動を立ち上げたい

継続的な参加につながる運営、指導員の拠り所となるよう進める。近隣にジュニア活動がなく、立ち上げたいと考える指導者が多くいた→**スタート支援。**

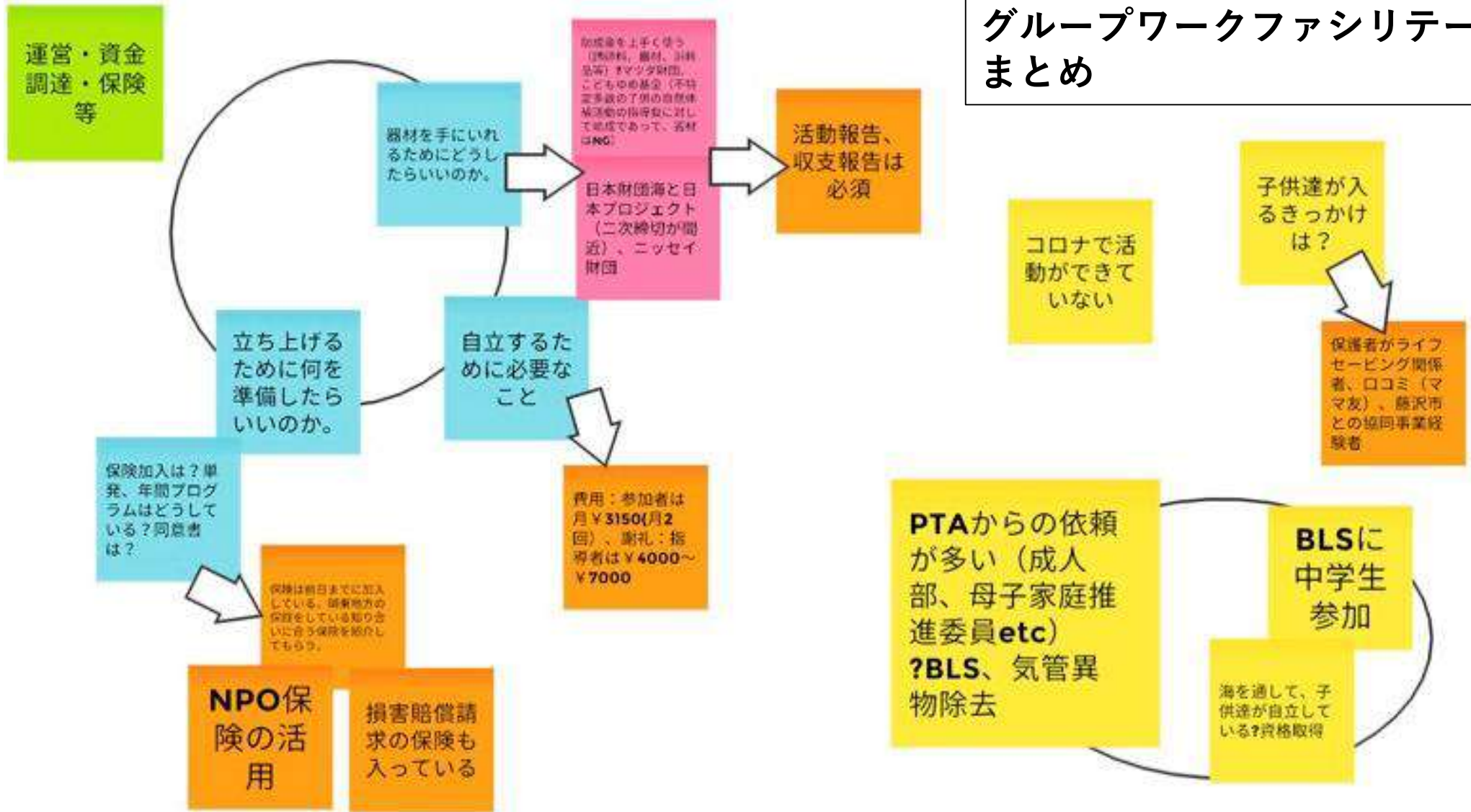
9-2, 地域教育推進事業、 JLAジュニアライフセービングクラブハウス ④-b

グループワークファシリテーター まとめ



9-2, 地域教育推進事業、 JLAジュニアライフセービングクラブハウス ④-b

グループワークファシリテーター
まとめ



9-2, 地域教育推進事業、 JLAジュニアライフセービングクラブハウス ⑤

8、次年度事業案

「地域クラブ全てにおいてジュニアライフセービング活動を」力強く後押しします！！

定期開催事業化(2022年度は春・秋に開催予定です)

・ジュニア教育指導者プラットフォームを形作るための、基礎的な情報交換空間の構築を目指します。各JLA委員会と連携することで、学生など幅広い参加を促し、ここで得られた様々な実践知をJLA資格に還元します。

スタートアップ支援

・ライフセービング教育の実態調査報告書により、関心度が高かったクラブや、現在未実施のクラブへの積極的な広報を行い、クラブハウスへの参加を促します。事業立ち上げ時の問題を解決できる、グループテーマを設定します。

ジュニア指導者コミュニティの活性化

・実際にジュニアプログラムを運営する中で関心の高いテーマについて、テーマを絞った意見交換や、先行事例の紹介などを実施します。

【振り返り】

- ・定期事業化→◎（実施）
- ・スタートアップ→○（助成クラブへの狙い撃ち広報）
- ・コミュニティの活性化→○（テーマ別グループワーク）

【次年度改善案】

- ・定期開催事業化（実施回数増）

ねらい「仲間を意識できる企画づくり。」

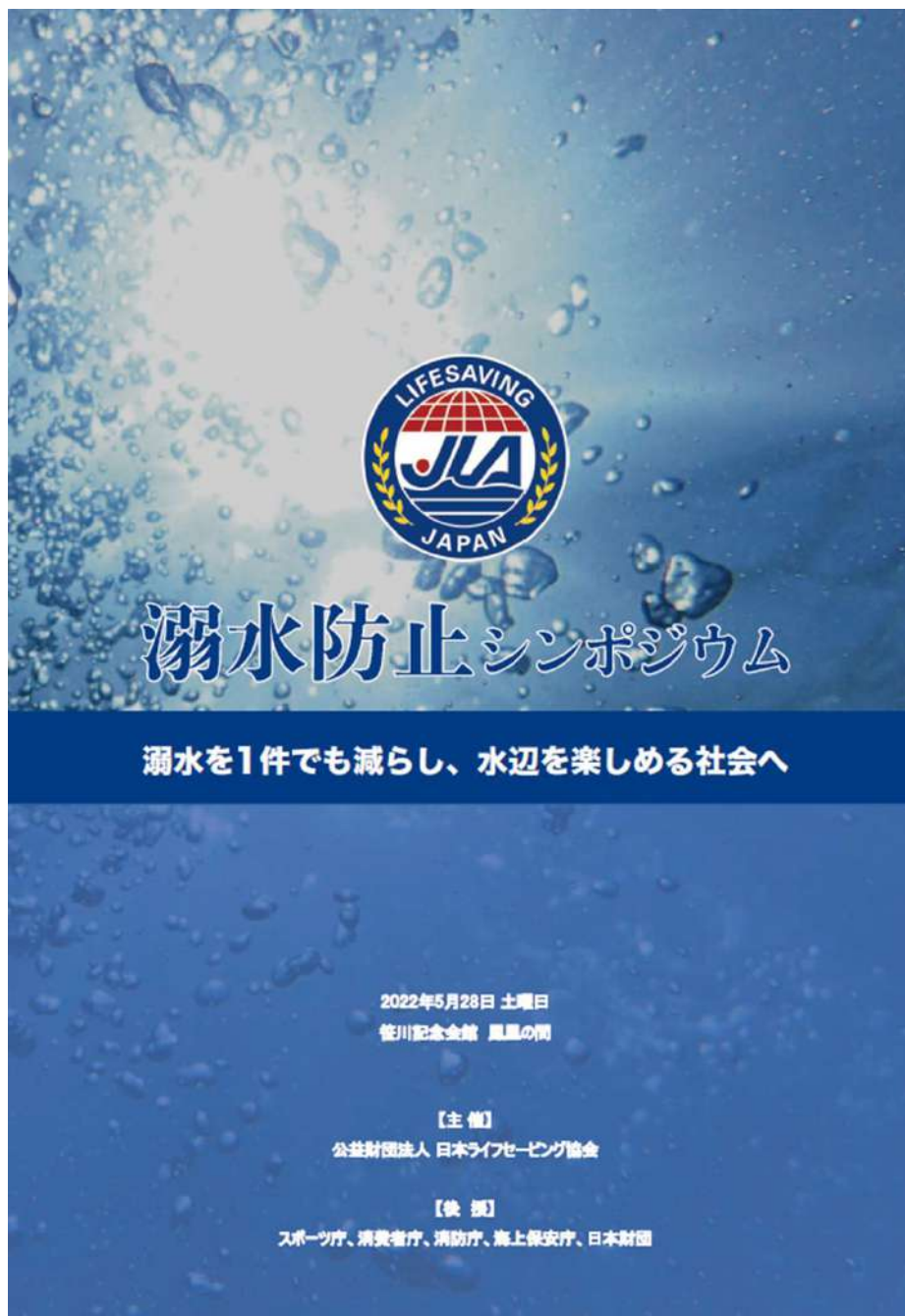
- ・スタート支援（新規開拓、継続化）

新規開拓【近隣地域との交流や具体的な課題解決→地域別クラブハウスや詳細な課題別グループワーク】

- ・活性化

年間を通じた交流ツール=オープンチャット年間運営
電子ビジネスカードなどによるマッチング

10, 水辺の事故ゼロに向けた提言 「溺水防止シンポジウム」の開催



開催概要

- 1.タイトル 溺水防止シンポジウム『溺水を1件でも減らし、水辺を楽しめる社会へ』
- 2.目的 国際連合総会（第75会期議事日程議案24）を受け、国民の水辺に対する安全意識（自助・共助）を高めるとともに、溺水防止にかかわる官民組織の横断的な取り組みの促進や連携の強化を採る。
- 3.形式 オンライン配信/対面講演 並行実施
- 4.日程 令和4年5月28日（土）
- 5.時間 14:00-17:00(13:30開場)
- 6.場所 笹川記念会館 鳳凰の間 （東京都港区三田3-12-12）
- 7.アクセス 都営地下鉄浅草線 泉岳寺駅より徒歩4分
都営地下鉄三田線 三田駅より徒歩8分
- 8.主催 公益財団法人 日本ライフセービング協会
- 9.後援 スポーツ庁
消費者庁
消防庁
海上保安庁
日本財団
- 10.内容 溺水防止に向けた、各官庁の取り組み紹介と課題討議

10, 水辺の事故ゼロに向けた提言 「溺水防止シンポジウム」の開催

内容詳細/スケジュール

PROGRAM プログラム

<p>第1部</p>	<p>14:00 — 開会</p> <p>World Health Organization ビデオメッセージ Dr. David Meddings</p> <p>14:10 — 溺水防止に向けた現状と取り組み 各20分(講演15分+質疑応答5分)</p> <p>1. 日本ライフセービング協会 (JLA) 「海水浴場における溺水事故の現状とウォーターセーフティ教育の重要性」 公益財団法人日本ライフセービング協会 副理事長/教育本部長 松本 貴行 Takayuki MATSUMOTO</p> <p>2. スポーツ庁 「学校体育を通じた溺水事故防止にむけた取組み実践」 スポーツ庁 政策課 企画調整室 室長補佐 古市 賢 Satoshi FURUICHI</p> <p>3. 消費者庁 「溺水事故調査から見た原因と予防策」 消費者庁 消費者安全課 事故調査室 室長 松本 浩司 Koji MATSUMOTO</p> <p>～休憩 5分～</p> <p>15:10 —</p> <p>4. 総務省消防庁 「消防における水難救助技術の向上についての取り組み」 総務省消防庁 国民保護・防災部 参事官 村川 貴支 Soshi MURAKAWA</p> <p>5. 国土交通省 「海岸における取組み事例」 国土交通省水害地・国土保全局 国土交通省海岸室 室長 奥田 篤久 Akihisa OKUDA</p> <p>6. 海上保安庁 「共につくるWater Safety」 海上保安庁 交通部 安全対策課 課長 松浦 あずさ Azusa MATSUURA</p> <p>～休憩 10分～</p> <p>第2部</p> <p>16:20 — フリートークセッション「溺水を1件でも減らすために」 -ファシリテーター- 大阪大学大学院工学研究科教授・工学博士 / 青木 伸一 Shin-ichi AOKI -スピーカー- 第1部ご登壇の皆様 日本ライフセービング協会 副理事長・教育本部長 / 松本 貴行 Takayuki MATSUMOTO 副理事長・広報室長 / 高野 絵美 Emi KONDO 常務理事・救助救命本部長 / 石川 仁憲 Toshinori ISHIKAWA 事業戦略室・シンポジウム実行委員長 / 上野 凌 Ryo UENO</p> <p>17:00 — 閉会のご挨拶 公益財団法人日本ライフセービング協会 理事長 / 入谷 拓哉 Takuya IRITANI</p>
-------------------	---

来場者/ウェビナー視聴者数/YouTube配信

「会場来場者数」

● 一般来場者*	10名
● マスコミ関係者	3社 5名
● 登壇者 (省庁関係)	1省4庁 5名
● 登壇者 (JLA関係者)	5名
● 運営スタッフ	9名
● 合計	34名

※一般来場者について

新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、JLA関係者への招待のみに限定
JLA関係者以外は、ウェビナーによる当日視聴、および実施後のユーチューブ配信の視聴を案内

「ウェビナー視聴者数」

● 第一部		
13:55 開始5分前		45名
14:00 シンポジウムスタート		75名
14:10 JLA		117名
14:25 スポーツ庁		119名
14:45 消費者庁		126名
	休憩	
15:10 消防庁		123名
15:30 国土交通省海岸室		121名
15:50 海上保安庁		121名

● 第二部 開始104名→111名→102名

「YouTube配信」

※シンポジウム終了後、6月20日より一般公開開始
<https://youtu.be/hgio4yRIsK8>

● 6月20日から6月24日10時現在 再生回数 200回
※今後JLA公式サイトおよびSNSを活用して拡散予定



10, 水辺の事故ゼロに向けた提言 「溺水防止シンポジウム」の開催

当日の様子 写真-1

受付



事前打ち合わせ



登壇者の全体の進行説明



登壇時の進行説明

当日の様子 写真-2

第1部登壇者



WHO(World Health Organization) ビデオメッセージ
Dr David Medzinski(ドクター・デイビッド・メジンギス)氏



(公財)日本ライフセービング協会副理事長/救済本部長 松本貴行



スポーツ庁 政策課 企画調整室 室長補佐 古市智 様



消費者庁 消費者安全課 事故調査室長 松本浩司 様



(総務省) 国民保護課(防災部) 事務官 村川英成 様



国土交通省水管理・国土保全局池原室長 奥田長久 様

10, 水辺の事故ゼロに向けた提言 「溺水防止シンポジウム」の開催

当日の様子 写真-3



薄上保宏氏 交通部 安全対策課長 松島あずさ 様



大阪大学大学院工学研究科教授、工学博士 青木 伸一様

当日の様子 写真-4



日本ライフセービング協会 理事長 入谷 祐哉



日本ライフセービング協会関係者



第2部ご登壇の省庁関係者様(第1部ご登壇の登壇)

集合写真



第2部パネルトークセッションの様子

取材・媒体掲載一覧①

▼事前PR活動

- ・国土交通省記者会投げ込み
- ・文部科学省記者会投げ込み
- ・JLAメーリングリストへメール配信
- ・PR TIMES へのプレスリリース配信
- ・HP、Facebookページ、Instagram、Twitter投稿
- ・JLA事務局、理事、関係者による個別PR

▼事前PR成果

- 5/25海と日本プロジェクトin千葉 HP紹介 <https://chiba.urinohi.jp/event/dekisui20220525/>
- 5/24 PR TIMES配信 http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016_000043525.html
- ◆転載記事 以下22社
- ・産経ニュース 株式会社産経デジタル
<https://www.sankei.com/pressrelease/prtimes/XNHFFTOWSBRPRDFR54ZSFULD4>
- ・ニコニコニュース 株式会社ドワンゴ
<https://news.nicovideo.jp/watch/nw10959772>
- ・ジョルダンニュース! ジョルダン株式会社
<http://news.jordan.co.jp/docs/news/detail.cgi?newsid=PT000016A000043525>
- ・読売新聞オンライン 株式会社読売新聞社
<https://yab.yomiuri.co.jp/adv/feature/release/detail/000000016000043525.html>
- ・時事ドットコム 株式会社時事通信社
https://www.jiji.com/jc/article?k=000000016_000043525&g=prt
- ・BIGLOBEニュース ビッグロブ株式会社
https://news.biglobe.ne.jp/economy/0524/prt_220524_6057328830.html
- ・@niftyビジネス ニフティ株式会社
https://business.nifty.com/cs/catalog/business_release/catalog_prt000000016000043525_1.htm
- ・@DIME (アットタイム) 株式会社小学館
https://dime.jp/company_news/detail/?pr=1130942
- ・All About NEWS 株式会社オールアバウト
https://news.allabout.co.jp/articles/p/000000016_000043525/
- ・JBpress (日本ビジネスプレス) 株式会社日本ビジネスプレス
<https://jbpres.ismedia.jp/ud/pressrelease/628c8694776561615e3a0000>
- ・おたくま経済新聞 C.S.T Entertainment, Inc.
<https://otakei.otakuma.net/prtimes/05241977515.html>
- ・財経新聞 株式会社財経新聞社
<https://www.zaikei.co.jp/releases/1672408/>
- ・ORICON NEWS オリコン株式会社
<https://www.oricon.co.jp/pressrelease/1197406/>
- ・マビオンニュース 株式会社マビオン
https://www.mapion.co.jp/news/release/000000016_000043525/
- ・フレッシュアイ 株式会社スカラコミュニケーションズ
https://news.fresh-eye.com/prtimes/article/pr-000000016_000043525.html
- ・BEST TIMES (ベストタイムズ) 株式会社ベストセラーズ
https://www.kk-best-sellers.com/articles/-/press_release/1461747/
- ・SEOTOOLS プラストホールディングス株式会社
http://www.seotools.jp/news/id_000000016_000043525.html
- ・Infoseekニュース 楽天株式会社
https://news.infoseek.co.jp/article/prtimes_000000016_000043525/
- ・エキサイトニュース エキサイト株式会社
https://www.excite.co.jp/news/article/Prtimes_2022-05-24-43525-16/
- ・NewsCafe 株式会社イード
<https://www.newscafe.ne.jp/release/prtimes2/20220524/1013385.html>
- ・とれまがニュース 株式会社サイトスコープ
<https://news.toremaga.com/release/others/2257813.html>
- ・ウレぴあ総研 ひあ株式会社
<https://ure.pia.co.jp/articles/-/1439915>

取材・媒体掲載一覧②

▼当日取材取り付け結果 3社

- ・日本テレビ (日テレ24) 報道局防災担当 佐々木様
- ・共同通信 金城様 オンライン取材
- ・読売新聞 福島様 来場取材

▼事前PR成果

- 日テレ24 (日本テレビ) <https://news.ntv.co.jp/category/society/9980e569b9de4c509291632adedec3cc>
- 日テレ24からの転載報道 以下7社
- ・Yahooニュース
<https://news.yahoo.co.jp/articles/f6058e8e8880edc362132bf36e3adb225d68f039>
- ・日テレYouTube
<https://www.youtube.com/watch?v=e4z0-XGUJIY>
- ・gooニュース
https://news.goo.ne.jp/picture/nation/ntv_news24-2022052809964898.html
- ・読売テレビ *閲覧不可
<https://www.ytv.co.jp/press/society/149609.html>
- ・日本海テレビ *閲覧不可
<https://www.nkt-tv.co.jp/pc-news/news916wdrz12moyxagmut.html>
- ・テレビ新潟 *閲覧不可
<https://www.teny.co.jp/nnn/news916wdrz12moyxagmut.html>
- ・中京テレビ *閲覧不可
<https://www.ctv.co.jp/404.html>
- 共同通信社 https://www.kyodo.co.jp/life/2022-06-02_3694119/
- 共同通信社からの転載報道 以下5社
- ・Yahooニュース
<https://news.yahoo.co.jp/articles/c4d7ec8dddc50f6c19cbfe10b03c61f8f9b519b1>
- ・OVO
<https://ovo.kyodo.co.jp/news/culture/a-1770715>
- ・エキサイトニュース
https://www.excite.co.jp/news/article/Ovo_1770715/
- ・gooニュース
<https://news.goo.ne.jp/picture/life/ovo-01770715.html>
- ・BIGLOBE ニュース
https://news.biglobe.ne.jp/trend/0602/ovo_220602_3088885357.html

- 読売新聞 6月10日 朝刊家庭欄

ウェブサイト掲載-1

Clipping Article

■ 件名	溺水防止シンポジウム
■ 掲載媒体	海と日本プロジェクトin千葉 HP紹介
■ 掲載開始日	2022年5月25日（水）～ ※事前PR



<https://chiba.univ.chi.jp/event/ds/ksj20220525/>

ウェブサイト掲載-2

Clipping Article

■ 件名	溺水防止シンポジウム
■ 掲載媒体	PR TIMES配信
■ 掲載開始日	2022年5月24日（火）～ ※事前PR



<http://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000016.000043525.html>

10, 水辺の事故ゼロに向けた提言 「溺水防止シンポジウム」の開催

ウェブサイト掲載-3

ウェブサイト掲載-4

Clipping Article

■ 件名	溺水防止シンポジウム
■ 掲載媒体	日テレ24 (日本テレビ)
■ 掲載開始日	2022年5月28日 (土) ~

Clipping Article

■ 件名	溺水防止シンポジウム
■ 掲載媒体	共同通信社
■ 掲載開始日	2022年6月2日 (木) ~

0テレNEWS

トップ 政治 経済 国際 **社会** スポーツ カルチャー ライフ

Googleはこの広告の表示を停止しました

社会 | 2022年5月28日 19:46

日本ライフセービング協会“水で溺れる事故減少へ”シンポジウム

東京・港区
午後2時すぎ

<https://news.ntv.co.jp/category/society/9960a529184e450623163c0ad6e3c7c>

KK KYODO NEWS SITE

株式会社 共同通信社

RPA導入前に知るべき情報の全て RPA 解体新書 ※RPA導入前に読ん FCEプロセス&テクノロジー 「RPAを調査して」と言われたら勝

総合トップ ニュース くらし イベント&セミナー 出版 会社案内 運営メディア 矢野経済研究所

官民組織が集結して『溺水防止シンポジウム』 “溺水を1件でも減らし、水辺を楽しめる社会”を目指して実現

2022年6月2日

👍 544 👍 ツイート

「溺水防止シンポジウム」の入りす (写真提供: 日本ライフセービング協会)

https://www.kyodo.com/ja/14/2022-06-02_3994119/

10, 水辺の事故ゼロに向けた提言 「溺水防止シンポジウム」の開催

紙面掲載-1

Clipping Article

■ 件名	溺水防止シンポジウム
■ 掲載媒体	読売新聞
■ 掲載開始日	2022年6月10日 朝刊家庭欄

